

令和4年6月1日

建設緑政局関係議案資料 (その2)

議案第78号

塩浜陸橋耐震補強工事委託契約の
締結について

建設緑政局

塩浜陸橋耐震補強工事委託契約の締結について

1 事業の目的

- 塩浜陸橋は、緊急輸送道路である一般国道132号にある鉄道を跨ぐ跨線橋であり、「川崎市橋梁耐震化計画」に基づき、今後予想される大地震に対し落橋などの致命的な被害の抑止や、鉄道への二次的な災害を防ぐとともに、地震後も安全な避難・輸送ルートの確保を図るため、防災上の視点から重要性の高い橋りょうとして位置付けている。
- 本橋の耐震対策としては、今後予想される大地震に対し、橋としての機能の回復が速やかに行い得る耐震性を確保することを目的とし、橋脚の巻立てなどの補強を実施するものである。

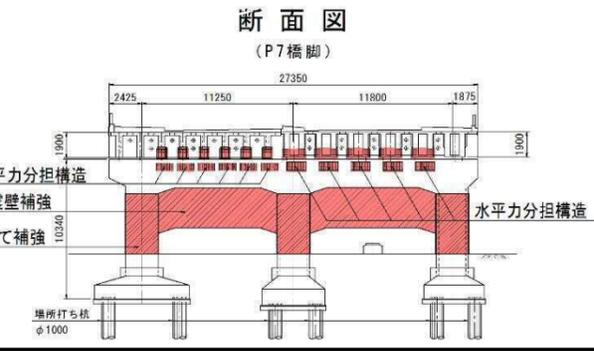
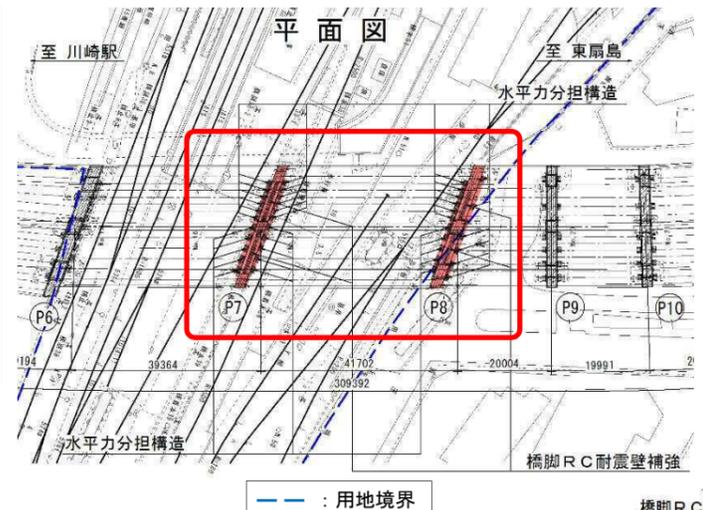
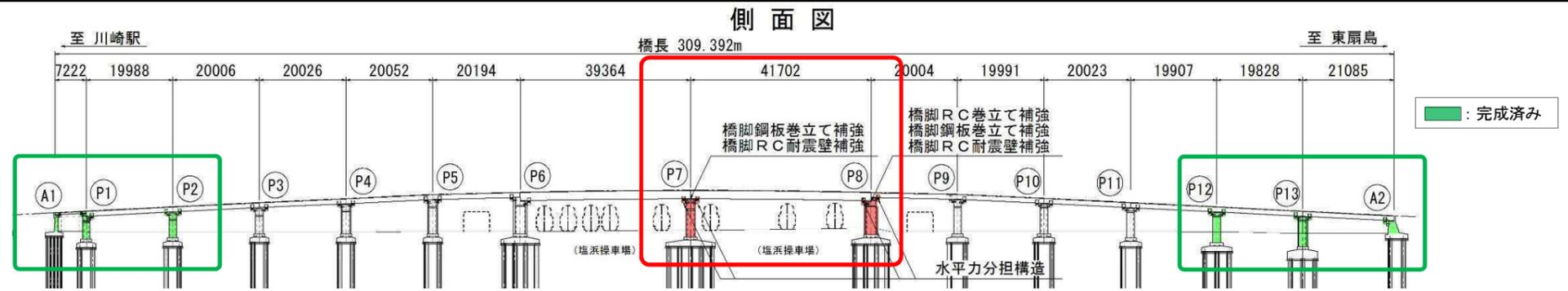
2 塩浜陸橋の耐震補強取組み経過

- 平成9年度：落橋防止構造設置（縁端拡幅：A1橋台、P1橋脚、A2橋台）、（PCケーブル：P1～P13橋脚）、（落橋防止壁：A2橋台）
- 平成28年6月：「川崎市橋梁耐震化計画」策定
- 平成30年度：（橋脚RC巻立て補強：P13橋脚、水平力分担構造設置：P13橋脚、A2橋台）
- 令和元年度：（橋脚RC巻立て補強：P12橋脚、水平力分担構造設置：P12、P13橋脚）
- 令和2年度：（橋脚RC巻立て補強、水平力分担構造設置：A1、P1、P2橋脚）

3 工事の概要

工事延長：L=41.702m（P7～P8間）
 標準幅員：W=25.8m
 橋りょう形式：単純PCT桁橋、単純PC箱桁橋
 工事内容：耐震補強工事（P7橋脚、P8橋脚）

※橋りょうの諸元
 橋長：L=309.392m
 竣工年月日：昭和40年（上り線）
 昭和61年（下り線）



工事箇所	主な工事	内容
下部構造	橋脚RC巻立て補強	橋脚の柱を鉄筋コンクリートで巻立てる補強
	橋脚鋼板巻立て補強	橋脚の柱を鋼板で巻立てる補強
	橋脚RC耐震壁補強	橋脚の柱と柱の間に鉄筋コンクリートの壁を設置する補強
支承部 ^(注1)	水平力分担構造設置	支承部に作用する地震時の水平力を受け持つ構造の設置

(注1)：上部構造と下部構造との間に設置され、上部構造の荷重を下部構造に伝達するための部材

4 日本貨物鉄道株式会社との契約の概要

工事の施行主体
 日本貨物鉄道株式会社（JR貨物）

工事の期間
 施行協定締結日 ～ 令和8年3月31日

工事の費用
 913,232,000円

【年度別の費用】

年度	費用
令和4年度	3.7億円
令和5年度	2.1億円
令和6年度	2.7億円
令和7年度	0.6億円
合計	9.1億円

5 今後のスケジュール

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
下部構造	A1-P2橋脚										
	P3-P4橋脚										
	P5橋脚										
	P6橋脚										
	P7-P8橋脚						JR貨物施工				
	P9-P10橋脚										
	P11橋脚										
	P12橋脚										
P13橋脚											
A2橋台											